

なにわ名物って、モノ・コトいっぱいあるけどやっぱヒトとちゃう？



なにわ名物 NEWS

2019年5月発行

| な | に | わ | 名 | 物 | 開 | 発 | 研 | 究 | 会 |

2019-No.2

発行：なにわ名物開発研究会

な 新年度御挨拶



平成8年に誕生した「なにわ名物開発研究会」、いよいよ新元号「令和」の時代を迎えることになりました。新しい時代に世代交代を！との思いでしたが、幹事会の皆さま、有志の方々から「もう一年やれ！」とのお声をいただき、熟慮のすえに「もう一年代表幹事」をすることを決意いたしました。新年度は設立の趣旨に思いを馳せ、異業種・異分野ネットワークとして多彩・多様な活動に取り組んできた会の魅力や素晴らしさを、ぜひみなさんともう一度共有し、大阪のまちと会員のみなさんの元気づくりにチャレンジしたいと思います。なにわ名物開発研究会のキーワードは「大阪・・・大阪のまち・文化・歴史・未来」「つながり・・・連携」「継続するしくみづくり」「まちと会員さんが元気になる成果づくり」に要約できます。これらの理念を実現させるために、組織変更などを提案して活動に取り組みます。「異業種交流会」「市民団体」「文化サークル」・・・会も多様な側面を持ち、「多様な価値観を共有する」緩やかであるけれどしたたかでしなやかな「なにわ

名物開発研究会」でありたいと思います。時代は、やはり私たちの思いに近づいてきました。もう一年みなさんの先頭に立ちますので、よろしくご支援ご協力をお願いします。「会員一人ひとりが主役」「年功序列も上下関係」・・・何もありません。ぜひ、一歩踏み出して参加していただければ、必ず化学反応が起こることをお約束したいと思います。

会長、代表幹事 野杓 育郎

な 1月度 月例会 「平成最後の新年互礼会」

平成最後の新年互礼会(1月度月例会)は、29日に例年の通り当会会員のみならず、広く当会に関わりの方々にも御参加賜り、賑々しく開催致しました。会場は当会の会員さんでもある中立公平さんが運営される OVAL Theater & Dining (オーヴァル・シアター & ダイニング)です。新年互礼会の1部は第11回なにわ大賞特別賞「大大阪音楽賞」を受賞されました大阪楽団さんをお招きし、新年らしく賑やかに温故知新モダン・レトロ・ミュージックショーで、大阪のゴールデンエイジ「大大阪」時代の輝きに思いを馳せつつ、その魅力に酔いしれました！2部のネットワークパーティは2階のアートダイニングスペースに移動して貸し切り宴会で大いに盛り上がりました。まさにエンターテインメントと食の融合した新年互礼会でした。



盛り上がる懇親会



大阪楽団の皆さまによる素晴らしい演奏と歌声に酔いしれました

広報交流部会 部会長 山口義博

な 2月度 月例会 「博覧会と上方文化」

2月月例会は「博覧会と上方文化」と題して株式会社 Landa の宮本倫明代表をお迎えして会員・非会員45名の参加でご講演をいただきました。宮本様は阪大工学部で微生物を学ばれ、株式会社リクルートを経て、その後イベントプロデューサー北本猛さんに師事されました。1993年に独立されてからは福島県「うつくしま未来博」、三重県「美し国おこし・三重」をはじめ数多くのイベントや地域おこしなどの政策事業を手がけられ、「えひめ町並み博」では2004年日本イベント大賞などを受賞されました。また私達大阪には「道頓堀開削400年記念、世界の盆踊り大会～ギネスに挑戦」を機に本社を大阪へ移されました。定例会では、大学で学ばれた微生物の「寿命があるからこそ生命が担保される」というお話から、ご経験された多くの事例を引き合いに、現実根差した大変学びの多いご講演をしていただきました。ご自身の座右の銘「至弱至強」をベースに常に動的に変化する時代を捉えられた活動をお聞きすることができました。また、宮本様の地域づくりのリーダー論【経験】【技術・知識】【動機】【志】は全ての仕事にも共通する要素であると感じました。また、経済軸と社会軸のお話しでは「増やすことで高まる価値」と「減らすことで高まる価値」が密接に共創していくということなど、中味の濃い2時間弱のご講演をいただきました。その後の2次会へも34名のご参加を頂き夜11時前まで大いに盛り上がりました。宮本様は次回「食博覧会大阪」プロデューサーに就任、関西大阪万博にも様々な形でご活躍いただきたいものです。このご縁を基にまた皆様方と宮本様のご交流が活発になるよう期待しております。宮本様へはあらためて感謝申し上げます。



宮本倫明氏

ビジネス部会 濱松誠一

な 3月度 月例会

「スルッとKANSAI」は鉄道業界のイノベーションだった！」

スルッと KANSAI を設立し、鉄道業界にイノベーションを起こした横江友則様から、設立秘話のお話をお聞きしました。鉄道会社同士が手を組み、観光地などと連携することでより顧客価値の高いサービスを提供できるとして取り組まれ、磁気カードの共通化、乗り放題乗車券「3day チケット」、ICカード「PiTaPa」、資材の共同購入によるコスト削減など、多くのイノベーションを生み出したお話をお聞きました。学ぶ点が多い企画でした。



横江友則氏



設立時のエピソードに感銘を受ける

地域活性化部会 部長 星乃勝

な 4月度 月例会 「体験型カジュアルお抹茶レッスン」

本日、なにわ名物開発研究会の4月例会を開催しました。毎年4月は会員・非会員の親睦を図る内容を実施していましたが、今年は「今日からあなたも”わが家流”の家元！体験型カジュアルお抹茶レッスン」で楽しめました。会場は島野珈琲株式会社を使用させてい



急須男子の見事な技術



参加者の皆さんも大満足

ただき、講師は株式会社京都かおりちゃん代表取締役重田博司さん、助手灰谷幸さんで進行していただきました。内容は①おもてなし：「急須男子 No.164」によるおもてなし&飲み比べ②講義：チーム対抗のクイズ形式で「お茶」のイロハを学ぶ ③実技：作法を気にせず、卓上で簡単においしくお抹茶を点てるということで、参加者の皆さんは楽しく美味しくお茶を体験できたと思います。これを機会に参加者の皆さんは自宅で美味しいお茶をいただけるようになったと思います。

広報交流部会 部長 山口義博

な ビジネス部会

●1月21日ビジネス部会で大阪市生野区今里にある平井木工挽物所を訪問しました。テーマは「ビジネスの原点・生野区の町工場・ものづくりのこころ」です。同木工挽物所は黒檀、ココボロ等の天然



見事に仕上がった万年筆

目を得意とした温かみある手作り筆記具メーカーです。50年以上の豊富な経験と熟練した技術を持つ平井守社長。陶器製造などで使用される”ろくろ”を使用しながら、木の挽き物を1本1本丁寧に仕上げます。伝統工法轆轤(ロクロ)を駆使し、手作り万年筆やボールペン、鉛筆補助軸等を、自由な発想で開発しました。平成30年には大阪テクノマスター認定者に選ばれました。全国あちこちのデパートの催事やマスコミ出演に引っ張りだこの平井さん。今回はその工房を訪ねてものづくりのこころについて語っていただきました。



真剣に見入る参加者



美しく回転するろくろ

●3月5日のビジネス部会、通称「ニシヨドスタン」と呼ばれる西淀川区千舟を訪れました。目的は大阪在住イスラム貿易商がどのような活動をしているかを知ることでした。まったく今まで経験したことがない内容なので新鮮な感覚で楽しむ事ができました。女性が2人と男性が5人、お世話になったナザルさんとアリさんで総勢9人の参加で大盛況でした。会の歴史にまったく新しいページを刻むことができました。

ビジネス部会担当 副代表 中井敏博



モスクにてアリさんを囲んで



パキスタン料理のおもてなし

な 地域活性化部会

近鉄八戸ノ里駅のビルの3階にある宮本順三さんの記念館「豆玩舎 ZUNZO」をお訪ねしました。グリコのおまけのデザイナーとして活躍された宮本順三さん、そのおまけの数々と日本・世界のミニチュアや人形玩具、仮面など民族文化資料も展示されていました。館長の樋口須賀子さんは宮本順三さんの娘さんで、昔のエピソードや、おまけのおもちゃが作られた背景など、ただ見るだけでは味わえない感動のお話をお聞きすることができました。今の若い人は「グリコのおまけ」も知らないでしょうが、シニア世代の私たちには「グリコのおまけ」が宝物でした。そのおもちゃが作られた時代背景や、おもちゃにかけられる愛情など、話を聞けば聞くほど、魂が揺さぶられるような感動を覚えました。「宮本順三記念館 豆玩舎 ZUNZO」は第2回「なにわ大賞」の準大賞を受賞されています。宮本順三さんは「あんたはエライ！」と表彰されたことを大変喜ばれたそうです。「なにわ大賞」に関わる喜びも感じました。



ショーケースは魅力的な玩具でいっぱい



樋口館長が様々なエピソードを披露

地域活性化部会 部会長 星乃勝

な 商品開発部会

4月は平成最後の月、ビジネス部会と合同で平成時代最後の部会を行いました。今回はMD(マーチャンダイザー、商品部バイヤー)のトップで活躍しているMDから高島屋の変遷、歴史と売り場やそれに伴うサービスや商品の流れについてお話を伺い意見交換しました。案内人は(株)高島屋MD本部リビング&フードディビジョン部長 押川裕雄様でした。押川MD、百貨店にほれ込んだとても熱い情熱を持った人です。『平成から令和へ』～ある百貨店人から見た百貨店、デバ地下の昔、今、そしてこれから・・・～という内容で入社してからの世の中の変化とその時々の課題、現在の課題未来にむかってのモデルの組み立てなど興味深い内容でした。

商品開発部会 部会長 中村一三

な 観光チーム「観光のひろば」

NPO 法人スマート観光推進機構、関西ベンチャー学会 文化観光部会とともに、観光の勉強会『観光のひろば』を開催しました。2月は『地方で個人が自らインバウンド集客の装置になる Airbnb 体験』について、スマート観光推進機構の中西宏之様に、4月は『新今宮のビジネスホテルが築いたインバウンド観光への挑戦』について、ホテル中央グループの山田英範様にお話をいただきました。

観光チームリーダー 星乃勝



講演の様子

な 新人会員紹介



花咲幸絵氏

株式会社ゆきえもじ代表の花咲幸絵です。幸絵文字を立ち上げた想い、それは・・・自分に自信がない人でも、自分の居場所を作る人になってもらいたい。そのために、目の前の人を本気で大切にしていこう。筆文字を使って、沢山のの人に幸せを届けられる人になってほしい。まずそのために自分自身が幸せな気持ちになることが大切なので、私自身が過去学んできた心理学や数秘を取り入れて、自己肯定感を上げるワークをカリキュラムに取り入れました。幸絵文字は、ただの筆文字で終わらせるのではなく

- ・筆文字は一つの表現のツール
- ・自己肯定感を上げていけるツール
- ・沢山のの人に幸せの種を蒔いていけるツール

この3つのツールを提供させていただくことで、習った人の今後の人生の変化のきっかけ作りをサポートできていると考えています。幸絵文字を受講した人が、確実に自信を取り戻し、自分で自分の人生のハンドルを握って前進してくれています。そんな生徒様を見るたび、私が元気と勇気もらっています。今では筆文字講座以外にも、関西を中心に、イベント出店、看板デザイン、年に一度の個展を開催しています。



インストラクターの皆さんと協奏個展も開催

花咲幸絵

な インバウンド観光コラム(4回連載)

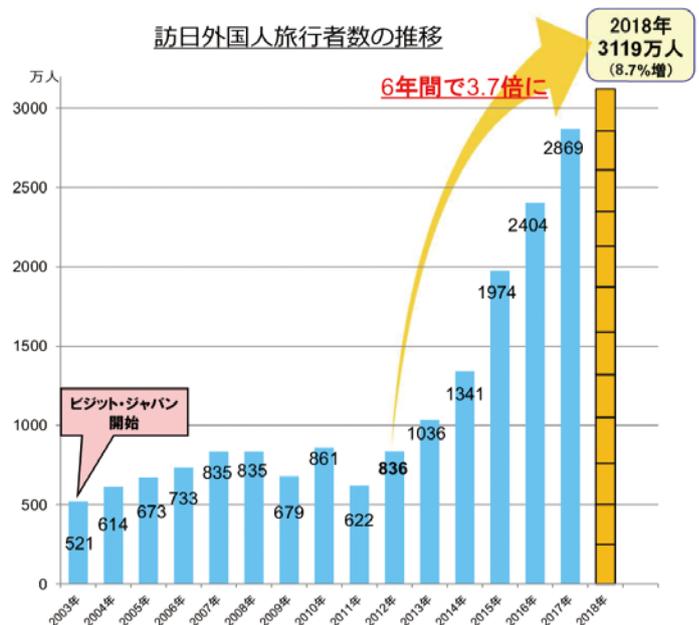
観光チームリーダー 星乃勝

<第3回 インバウンドが抱える課題>

関空急行も混雑してきました。

「インバウンドなんて迷惑や」の声が聞こえてきます。インバウンドが座席を占有するとともに、大きなトランクを車内に持ち込んでいます。京都の東山の混雑もひどく、市バスも乗れない状態になっています。昨年春「祇園白川さくらライトアップ」も混雑のため中止になりました。スペインでは、1992年のバルセロナオリンピック以降に観光客が10倍にも急増し、昨年の夏「観光客の排除運動」が起こり、民泊が大幅に排除されるといいます。徐々に増えてくれるインバウンドは大歓迎ですが、急激な増加は問題を大きくします。「中国人はゴミをそこら中に捨ててマナーが悪い」の声もよく聞きますが、インバウンドからは「ゴミ箱が少なすぎる」との声も聞こえます。文化もマナーも違う外国人。人口減少や消費経済から訪日してもらうのはありがたいのですが、地域の生活を損なうような観光の姿は問題です。地域にふさわしいキャンペーンを見つめ直す必要も出てきています。

訪日外国人旅行者数の推移



大阪の地域資源を活用し、大阪を活性化。

なにわ名物開発研究会とは?

なにわ名物開発研究会は、大阪で頑張る「メーカー」「流通」「サービス」「コンサルタント」「クリエイター」など業種・業態、ついに「業」さえも超えたヒト・モノ・コトのネットワーク組織です。毎月の例会を始めとする多彩な行事で、会員間の交流・関係諸団体との交流を図りながら、大阪の活性化を目指しています。

【正会員】入会金 10,000円・年会費 36,000円 / 【準会員】入会金 5,000円・年会費 18,000円

Mail : info@naniwa-meibutsu.com URL : <http://www.naniwa-meibutsu.com/>

〒542-0074 大阪市中央区千日前2-11-10 いづもやビル4F TEL:06-6643-3150 FAX:06-6643-3140

現在新会員を募集中!!

ええ大人がビジネスも遊びも本気でやっているのが、「なにわ名物開発研究会」の特徳です。

※詳細は事務局までお問い合わせください。